

▼**関東**

あゝグルメ!「飢餓と飽食」

町田 正夫(MBS)

昭和20年の夏、敗戦。銀座尾張町では進駐軍のMPが手さばきで交通整理をしていた。アメリカ兵の立ち姿はまぶしかった。そして、日本中が飢えていた。

あれから79年。尾張町は銀座5、6丁目と呼称を変え、その近くにあったアンパン屋は木村家ビルとなり、日本一の繁華街の一角に屹立(きつりつ)している。

その4階のレストランに平和ボケした老人がフランス料理を食さんと訪れる。「グルメの会」。

乾杯のビールは猛暑を吹き飛ばす。冷スープの美味に目を閉じる。やわらかい肉だなどつぶやく。籠に盛られた各種のパン。残ったら、持ち帰るようと袋が配られる。そして、デザートはアイスとケーキとコーヒー。

飢餓に苛まれていた中学生は90歳を過ぎて今、銀座の高級店で豪華な料理を味わっている。なんとという落差。真夏の昼の幻影。

幹事に深く感謝しつつ、老人は家路についた。



苦あれば楽あり。満足満足。



大竹さん



佐藤さん

熱中症アラートの中、納涼会
須佐 博樹(TeNY)
平年よりも遅くなった梅雨が明けて8月5日、新潟市のイタリア軒で納涼会を開催しました。
樋浦孟支部長が「会員の総力で催しに多くの参加者を得て、一層の親睦をはかりましょう」と挨拶。今年の新入会員・佐藤友映さん(FM新潟)、大竹正敏さん(BSN)が紹介され、その後、高らかに乾杯!



ビンゴ大会、元気な声が響く

今年から誕生月にバースデーカード(催しの際、持参してもらいプレゼントと交換)を送り始めて最初の催しでしたが、持参した方はたった1人。特例として対象者4人全員にプレゼントをお渡ししました。
恒例のビンゴ大会も盛り上がり、隣の声が聞きづらくなるほどの元気な声が飛び交う納涼会になりました。